

平成二十九年四月投句

【福岡城址】

煙立ちぼん菓子破裂春うらら

花の屑濠の蓮葉を縁取れり

牧渡るいななき長く春惜しむ

勝利

花吹雪多門櫓を越えゆけり

由紀子

手水鉢ふたひらなれど花筏

猫通る鯛釣草の花揺らし

春惜む小鳥も人も野にありて

花満つる城へ石垣連なりて

光子

【お休み】

節子

一時にみな咲き急ぎ庭の春

蘆わかば潮見櫓を正面に

濠の水弧を描きつつ花筏

真理子

携えし写真に語り春惜しむ